

# 地域経済活性化への取組み

当金庫は、苫小牧市を主体に胆振・日高・石狩・上川の一部地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互い助け合い発展していくことを共通理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野にいれ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

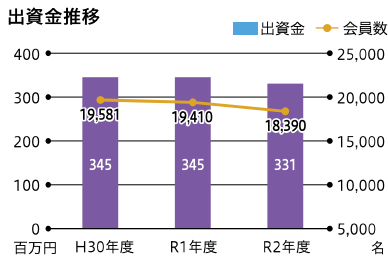
## お客さま・会員・地域

苫小牧市、千歳市、札幌市、室蘭市、登別市、恵庭市、江別市、北広島市、石狩市、むかわ町、厚真町、安平町、占冠村、新冠町、日高町、平取町、白老町、新ひだか町

### 出資金

#### ● 会員の出資について

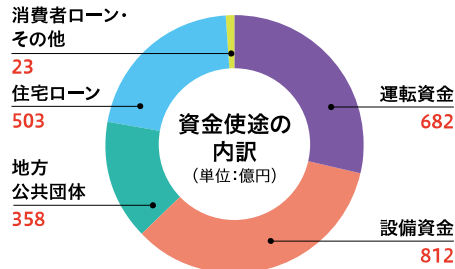
- 会員数 **18,396名**
- 出資金 **3億31百万円**
- 出資一口(500円)当たりの純資産額 **84千円**



### 貸出金

#### ● 地元のお客さまへのご融資について

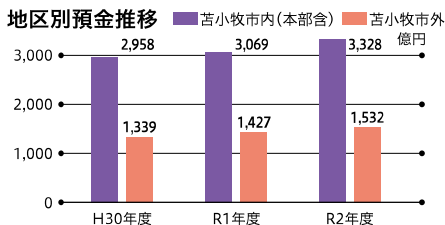
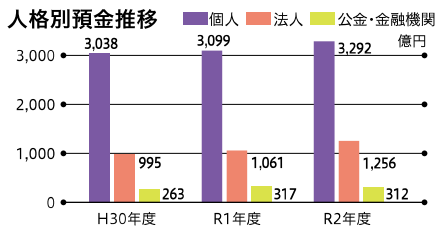
- 総融資額 **2,380億42百万円**
- 預貸率 **48.80%**



### 預金・積金

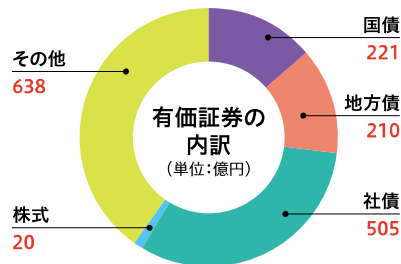
#### ● お客さまからお預かりしている預金積金について

- 総預金額 **4,877億23百万円** (譲渡性預金含む)



#### ● ご融資以外の運用について

- 有価証券 **1,595億41百万円**
- 預証率 **32.71%**
- 預け金 **1,527億08百万円**



### 支援サービス

## 苫小牧信用金庫

- 店舗数/28カ店 (うち出張所1カ店)
- 代理店/1カ店
- 子会社/3社
- 役員員総数/353名 (子会社含む)

## とましんのCSR(企業の社会的責任)への取組み

当金庫は、経営計画「とましん『共創力』発揮3か年計画」の「支援力、営業基盤の強化」の中に、「地方創生のための取り組み」を挙げております。

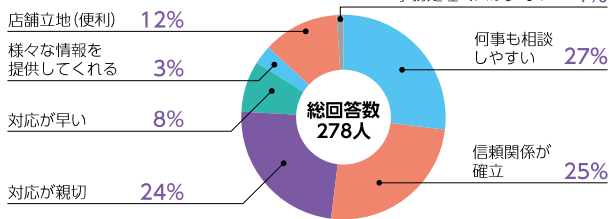
当金庫は、地域社会の一員として、これまで以上に各種地域貢献活動の実践、地域イベントへの参画、並びに奉仕活動等を通じて社会的責任(CSR)を果たしてまいります。

令和3年3月末時点

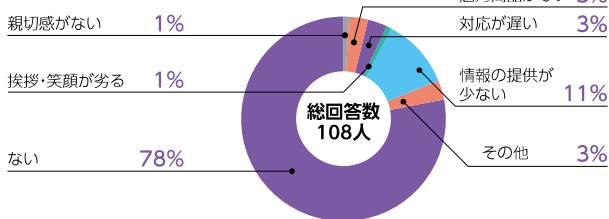
## 総代アンケート結果(令和3年度)

総代の皆さまにご協力いただき、当金庫に対する質問形式のアンケートを行い、過日ご回答をいただきました。その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。ご協力いただきまして、ありがとうございます。

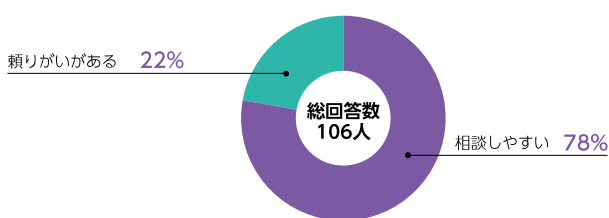
### 当庫に対して「良い」と思うこと



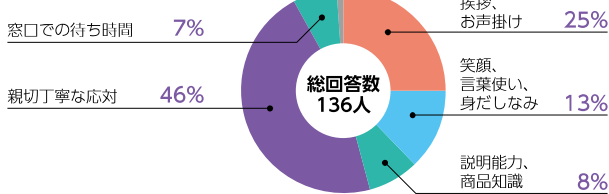
### 当庫に対して「不満」と思うこと



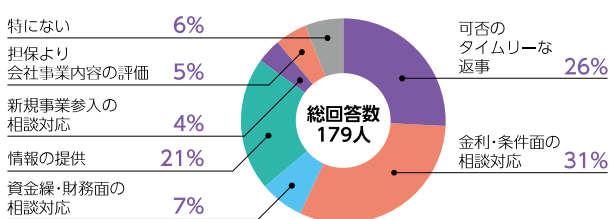
### 営業店の「店長」について



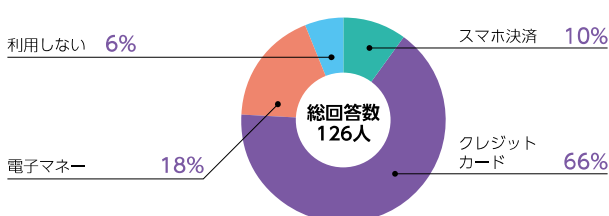
### 職員の応対について最も気にすることは



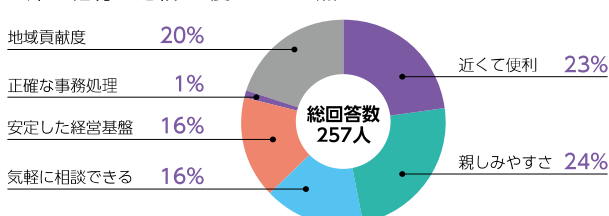
### 融資取組や相談業務において望まれることは



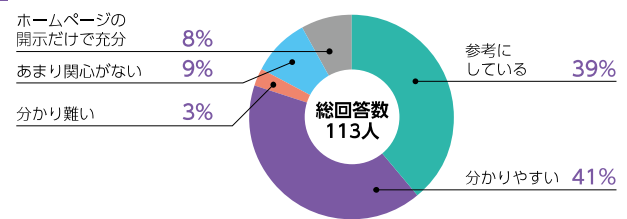
### キャッシュレス決済の利用について



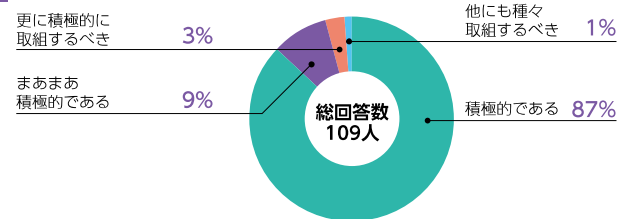
### 当庫が他行と比較し、優れている点は



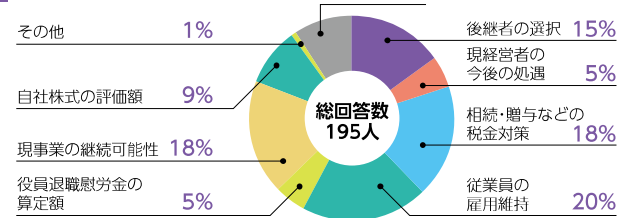
### ホームページやディスコログ等の情報開示について感じていることは



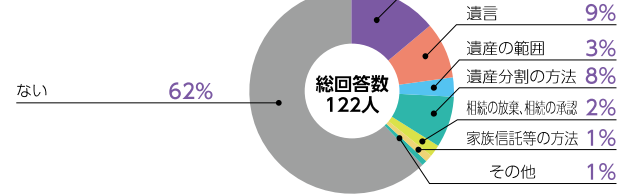
### 当庫の地域貢献・地域活性化に向けた活動は



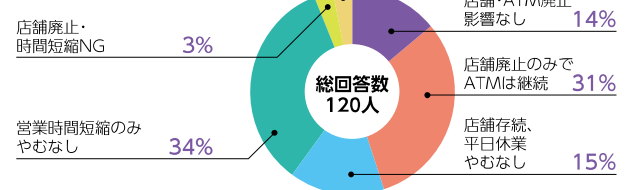
### 事業承継における重視する点は



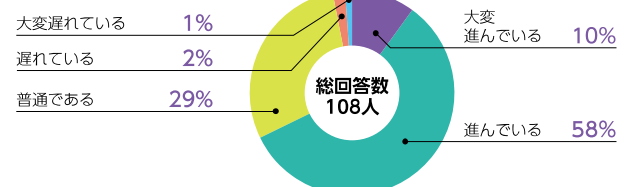
### 相続に関してお悩みやご相談したいことはありますか



### 店舗の統廃合や窓口時間の短縮、平日休業等、どうお考えですか



### ガバナンス機能を向上させるため、総代の定年性や重任制限、情報開示、職員外役員の登用等について、どうお考えですか



# 利用者の評価に関するアンケート結果(令和3年度)

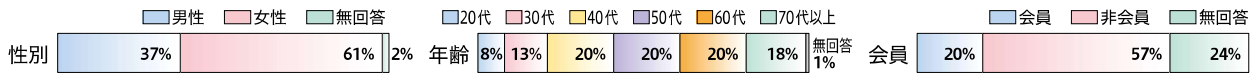
当金庫をご利用されるお客さまの意見、要望を収集し、よりいっそうのサービスを提供することを目的に以下のアンケートを実施しましたので、その結果について概要を報告いたします。

## 1. 調査実施方法

- (1) 調査期間 令和3年4月5日(月)～4月21日(金)
- (2) 実施店舗 29店舗(出張所、代理店を含む)
- (3) 調査方法 店頭調査(店頭に調査票を設置し、来店したお客さまに回答をお願いする。)
- (4) 有効回答数 977枚
- (5) 調査項目 11項目(以下のとおり)

## 2. 調査結果の概要

- (1) 回答いただいたお客さまの属性  
性別、年齢、会員か否かの3つについての属性は以下のとおりです。



- (2) 設問ごとの結果

以下の11項目ごとに、満足度(どの程度満足されたか)について質問し、かつ意見や要望がある場合には記入していただく方法をとりました。なお満足度を「満足、ほぼ満足、やや不満、不満」の4つに区分し、当金庫がどこに当てはまるかを選択していただく方式としております。

<p><b>① 窓口の対応(態度、待ち時間)</b></p> <p>「満足」(62%)と「ほぼ満足」(35%)で97%を占めます。店舗の窓口こそがお客さまとの重要な接点であることから、明るい挨拶と丁寧な対応を心がけます。</p> <p>○いつも丁寧に対応いただいている。(西支店、中野支店、他各支店) ○笑顔で対応いただき嬉しかったです。(川沿支店、市役所出張所)</p>	<p>満足度 <b>97%</b></p>
<p><b>② 商品内容の説明、わかりやすさ</b></p> <p>「満足」「ほぼ満足」が多数となっておりますが、その一方で商品のわかりづらさも指摘されています。よりわかりやすい品揃えとサービスにつとめます。</p> <p>●借入の際、特に住宅ローンは商品が多すぎてわかりづらい。(本店)</p>	<p>満足度 <b>95%</b></p>
<p><b>③ 要望や相談への対応、アドバイス</b></p> <p>「満足」(57%)「ほぼ満足」(38%)で95%を占めています。お客様の要望や相談に親身に対応し、さまざまなアドバイスやコンサルティング機能を発揮することが当金庫の使命と考えており、これからも地域金融機関としての役割を果たしてまいります。</p>	<p>満足度 <b>95%</b></p>
<p><b>④ 高齢者などへの気配り、サービス</b></p> <p>高齢者や障がい者の方々に対するサービスについても、引き続き高い評価をいただきました。「ご長寿ふれ愛110番」の設置や苫小牧市内の独居高齢者宅への定期訪問、お客様相談センターでの年金・相続相談対応等、高齢者の方々へのサービスを充実させています。また、店舗のバリアフリー化や視覚障がい者対応ATMの完備等、多くの皆さまが利用しやすい環境を整備しております。</p>	<p>満足度 <b>92%</b></p>
<p><b>⑤ 商品、サービスの品揃え</b></p> <p>「満足」「ほぼ満足」をあわせて87%と、他の項目と比べ若干数値が低い結果となりました。お客様のニーズにあった商品・サービスを提供できるよう商品開発等を目指してまいります。</p>	<p>満足度 <b>87%</b></p>
<p><b>⑥ 預金や貸出金の金利、各種手数料料金</b></p> <p>「満足」(33%)「ほぼ満足」(41%)と評価を受けている一方で、「やや不満」(19%)のご意見もいただいております。低金利の水準が続いており、預金金利は最低水準のままとなっておりますが、ご融資につきましてはお客さまのニーズに対応すべく各種商品をそろえております。また、手数料については、実費相当のご負担を頂いております。今後も各種サービスの向上に努めて参ります。</p>	<p>満足度 <b>75%</b></p>
<p><b>⑦ 営業時間やATMの利便性</b></p> <p>「満足」「ほぼ満足」をあわせて85%と、前年より満足度が向上しました。働き方改革の一環としてATM稼働時間を一部短縮させていただきました。また、環境保全の観点からATMコーナーや店頭への据え置きを取りやめております。ご理解いただければと存じます。</p> <p>●ATMでお金をおろした際に袋がないと不便です。(本店) ●土日祝日にATMを使えるようにしてほしい。(桜木支店、中野支店、鶴川支店、厚真支店)</p>	<p>満足度 <b>85%</b></p>
<p><b>⑧ 金融機関としてのイメージ、親しみやすさ</b></p> <p>「満足」(62%)「ほぼ満足」(36%)と高評価をいただきました。これからも、地元に着着した金融機関として地域とともに歩んでいきます。</p>	<p>満足度 <b>98%</b></p>
<p><b>⑨ 経営の健全性</b></p> <p>ホームページや毎年発行しているディスクロージャー誌などを通じて、当金庫の経営状況について情報発信をしています。純資産額、含み損益、自己資本比率、不良債権比率などの数値や指標について健全な水準を維持・充実させるよう努めてまいります。</p> <p>また、これらを積極的にPRすることで、お客様が安心して取引を行える金融機関であり続けます。</p>	<p>満足度 <b>94%</b></p>
<p><b>⑩ 店舗環境や設備状況</b></p> <p>「満足」「ほぼ満足」が93%と概ね高い評価を頂いておりますが、店舗関連設備についての要望もいただいております。引き続きお客さまにご利用しやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p>○別の支店取引ですが、買い物ついでに便利です。(糸井支店) ●両替機があると助かります。(錦岡支店)</p>	<p>満足度 <b>93%</b></p>
<p><b>⑪ 地域社会への貢献度</b></p> <p>この結果から、当金庫の活動をお客様にご理解していただいていると実感しています。現状の評価に満足することなく、これからも地域社会発展のため、さまざまな貢献活動を行いながら地域とともに歩み続ける金融機関であり続けます。</p> <p>○様々な地域活動への協力やまちづくりのイベント開催など実施している。(白老支店)</p>	<p>満足度 <b>95%</b></p>

※●【要望コメント】 ○【支援コメント】  
※満足度は、「満足」、「ほぼ満足」を合計した数値です。

お客さまからいただきましたご回答や貴重なご意見から、当金庫の強み・弱み・今後の課題について認識を深めることができました。ご協力いただきましたお客さまには深く感謝申し上げます。これからも、お客さまの利便性や満足度の向上に向け邁進いたします。

## 新型コロナウイルス感染症拡大に対応した活動(令和2年度)

令和2年度においては年度初より新型コロナウイルス感染症が全国規模で波及し、令和2年4月から5月まで全国を対象とする緊急事態宣言発令により、経済活動が制限されるなど地域における影響も甚大なものでした。

当金庫は、例年、各種地域貢献・地域活性化活動を行ってまいりましたが、多くの取組を見送ることとなりました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた地域及びお客様に対する取組や、地域の皆さまと直接接点を持つ職員に対する取組を進めてまいりました。

### 地域及びお客様に向けた取組

#### 1. 休日相談会の実施(5/2~6)

緊急事態宣言発出を受け、移動の自粛や休業要請等により経済的損失・雇用環境の悪化に直面している事業者・個人に対して、国の政策により無利息・無担保の融資制度が設定されました。これを受けて、当金庫ではゴールデンウィーク期間中に全営業店で、融資等様々な相談に対応すべく相談会を実施しました。

期間中、114名の方が来店され様々なご相談に対応させていただきました。



相談会等の案内文

#### 2. 飲食店向け事業支援セミナー(5/13)

苫小牧市・苫小牧商工会議所と連携し、「北海道料理飲食業生活衛生同業組合苫小牧支部」組合員を対象に融資制度・給付金などに係る支援制度セミナーを開催しました。

#### 3. テナント事業者向け支援セミナー(7/20)

テナント事業者を対象に「無利息・無担保融資制度」「家賃支援給付金」に関する制度概要説明会を開催しました。

#### 4. 臨時商品券類の発売・精算窓口

地元住民や地元企業支援のため、自治体や商工会議所等が発行するプレミアム商品券類の取り扱いに際し、発売や精算に関する取扱窓口となり、地域の皆様が行う取組に対するお手伝いをさせていただきました。

### 職員に対する取組

#### 1. 日々の検温等水際対策

新型コロナウイルス感染症対策として、出勤時に検温を行い体温が一定以上に高いと認められた場合には、帰宅を促すよう本部・各店舗で実施しています。

また、「新型コロナウイルス感染防止10カ条」を制定し、意識の高揚を図っています。



#### 2. 感染対策休暇の取得

4月と12月2回にわたり、感染防止に係る有給休暇取得促進の通達を発信し、業務の調整を行ったうえで一定期間内に有給休暇を複数回取得することを奨励・実行し、分散勤務等を実施しています。

#### 3. 感染者、濃厚接触者発生時の対応

令和2年2月より対策委員会を立ち上げ、感染者や濃厚接触者発生時の対応準備を行ってまいりました。更に、他金融機関における感染者発生時の対応を参考として、プレス・休業・消毒・業務継続等の対応体制を整えています。令和3年4月に当金庫にて感染者が出た際には、この準備された手順に従って各種対応を実施しています。

#### 4. リモート会議の実施

当金庫内での「密」を回避するため、リモート機能を活用した感染対策を実施しています。従来、本部などへ集合して実施していた会議等については、原則、リモートによる会議に移行し、これを継続しています。

苫小牧市が、「苫小牧市飲食店等支援給付金事業」「苫小牧市事業継続支援事業」開始の際には、リモート会議により説明会を実施し、支援体制の強化を図りました。



リモート会議の様子

#### 5. テレワークへの準備

テレワークに関しては、「とましん」は地域密着型営業展開を行っているため、営業店では導入の運びには至っておりません。しかしながら、国等から求められているスキームであることを踏まえ、本部業務について在宅での取組が実現可能となるよう、検討・検証を行っております。

# SDGsへの取組み

苫小牧信用金庫は、2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」であるSDGsの達成に向け、2019年10月1日「SDGs宣言」をいたしました。

苫小牧信用金庫は平成10年(1998年)創立50周年を機に地域の使命共同体としていっそう邁進することとし、その後、地域貢献、環境問題を業務の最重要項目として、専門部署を設けるなど、あらゆる分野で事業の展開を図ってきました。

今般、経営理念(1.優れたサービスを提供し、総ての人々から親しまれ、愛される金融機関となるよう努力する。2.常に健全経営を貫き、金融機関の公共性を自覚して、信用の維持と事業の発展に努力する。3.職員の能力開発、人材登用を計り、生活の向上と明朗な職場を造るよう努力する。)のもと、国連が定めた「持続可能な開発目標SDGs」の達成に事業活動を通じ、地域の担い手として貢献していき、SDGs宣言をいたしました。



## 苫小牧信用金庫「SDGs」基本方針

### 地域貢献・社会貢献



- ◆ 各町内会金融犯罪防止セミナー、小中学校金融教育等の実施
- ◆ 農業経営アドバイザー(日本政策金融公庫)資格者養成に取組
- ◆ 振込詐欺防止の取組
- ◆ とましん信和会公演の開催
- ◆ 「まちなか交流館(足湯・物産コーナー)」の設置
- ◆ 地域の安全を守る「110番の店」(各種犯罪の抑止、予防)設置



R3.6 振込詐欺防止警察表彰 (中野支店)



R2.12 経済文化講演会 隈研吾氏

### 多様な人材育成



- ◆ とましん創生塾(若手経営者育成)の取組
- ◆ 女性総代の積極登用
- ◆ 次世代育成支援(対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定)
- ◆ 中小企業基盤支援機構「地域支援機関等サポート事業」を活用した職員向けセミナーの実施



R2.9 事業継承セミナーの実施(職員向け)

## 安心・安全な医療・福祉



- ◆ 認知症サポーター制度参画
- ◆ 「がん検診の受診率向上」に向けた官民共同の取組み(協定)
- ◆ AED(自動体外除細動器)設置(本店ほか4店舗及び本部 合計6台)

## 地域環境の推進・保全



- ◆ セキュリティー&リサイクル(大型シュレッダー運用)
- ◆ 地域のランドマーク・まちを明るく(新本店壁面太陽光発電ライトアップ)
- ◆ クールビズ実施(本部職員は通年)
- ◆ 海の漂着物研究と清掃(ビーチコーミング)

## 地域経済の発展と支援



- ◆ 事業性評価に基づく課題解決型金融の実践
- ◆ 地域活性化・社会貢献(企業・団体)表彰の実施
- ◆ LLB会結婚相談所開設

## パートナーシップの推進



- ◆ 「苫小牧地域ものづくり産業振興のための産学官金連携」協定調印



「令和3年2月1日付 苫小牧民報 掲載」



SDGs(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)

国際連合にて2015年に全会一致で採択された、「貧困」「飢餓」「健康」「教育」「働きがいと経済成長」「まちづくり」「気候変動」などの社会課題解決のため、2030年までに国際社会が取組むべき目標。

## 地域貢献・地域活性化活動(令和2年度)

新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、苫小牧信用金庫は、できる限りの地域貢献・地域活性化活動を実施してきました。

4月2日～8日

- **ライト・イット・アップ・ブルー2020 in とまこまい**  
世界自閉症啓発デーに合わせ、本店をブルーにライトアップしました。



5月15日

- **新生公園花壇の植栽**  
「トマコマイクリーンアップ・サポーター制度」の一環として新生公園花壇の植栽・管理を行うとともに、周辺地区の美化・清掃活動を例年行っています。令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため最少人数で植栽を行いました。

6月15日

- **信用金庫の日**  
「信用金庫の日」にノベルティの配布や店周清掃ボランティア活動、ロビー展の開催などを行いました。

7月16日

- **とましん地域活性化・社会貢献賞表彰式**  
社会福祉や環境保全等で地域に貢献する企業や団体を表彰する制度で、今回で6回目となります。  
例年は、総代会後の懇親会の場で表彰を行っていますが、新型コロナウイルス感染防止のため、個別に表彰を行いました。(奨励賞：有限会社農業生産法人永楽牧場様、たかなざ小児科医院院長 高柳直己様、みきパン工房主宰 有川美紀子様)



9月9日

- **北海道全国育樹祭 表彰式**  
第44回全国育樹祭の開催に際し、当金庫が北海道へ300万円の寄付を行いました。これに伴い、表彰式が行われ、その席で感謝状をいただきました。



11月1日

12月12日

2月7日

- **「教育資金セミナー」開催**  
大学・短大・専門学校進学を検討中している高校生の保護者を主対象に、大学進学時の費用負担や苫小牧市の助成制度、教育ローン等についてのセミナーを3回開催しました。

12月7日

- **第46回とましん経済文化講演会**  
「まちづくりについて考える」と題した講演を実施しました。  
(講師：建築家、東京大学特別教授・名誉教授 隈 研吾 氏)



12月25日

- **信金中央金庫「ふるさと応援団」寄附事業採択(苫小牧市と事業構築連携)**  
信用金庫が自治体とともに取組む地域創生推進事業への寄附として、創設された信金中央金庫「ふるさと応援団」の募集に対し、苫小牧市と事業構築連携のもと「苫小牧市事業承継推進事業」を応募し、寄附事業として採択されました。  
贈呈式は令和3年1月19日に行われました。



## 外部団体との連携

地域貢献活動の一環として、地域経済活性化を目的に、各種外部団体とのあいだで連携協定を締結しました。

6月11日

### ■「苫小牧地区技能士協会」との連携

地域における職業能力開発・技能振興、加入事業者に対する経営改善・財務改善・ビジネスマッチング等の経営情報や地域経済動向などの情報提供を含めた経営支援や事業継承支援等をすすめ、連携して地域経済活性化の促進していくことなどを趣旨とした連携協定が締結されました。



8月4日

### ■「苫小牧地区自動車整備協同組合」「協同組合苫自整ビジネスサービス」との3者連携

業務を通じて地球やまちに優しい環境づくりに取り組むとともに、人材の育成、経営支援、事業継承支援などをすすめ、相互に連携して地域経済活性化の促進していくことなどを趣旨とした連携協定が締結されました。



12月18日

### ■「苫小牧地区トラック事業協同組合」との連携

物流拠点の苫小牧地域におけるトラック運送事業者の発展が地域発展に繋がるとの共通認識のもと、人材育成と経営支援及び事業継承支援などをすすめ、連携して地域経済活性化の促進していくことなどを趣旨とした連携協定が締結されました。



## 「地方創生担当大臣表彰」の受賞

### 「とましん結婚相談所(LLB会)」

当金庫が取り組む「とましん結婚相談所(LLB会)」は、令和2年度 地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例として、「地方創生担当大臣表彰」を受賞致しました。

「とましん結婚相談所(LLB会)」は平成29年度に「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として、地方創生担当大臣表彰を受けておりましたが、当金庫の取組みに賛同して、旭川信用金庫と帯広信用金庫が結婚相談所を立ち上げ、道内3金庫が北海道における「未婚率が高い」という課題に積極的に取り組んでいると高い評価をいただき、今般、異例となる二度目の受賞となりました。

現在のコロナ禍におきましても、毎月新規入会者がおります。是非、お気軽にご相談ください。



## 地方公共団体への寄付

当金庫における地域貢献事業の一環として、地方公共団体における各事業の推進に向けた寄付を行いました。

令和2年度は以下のとおりです。

- 北海道 「もう一つのクライマックス」プロジェクト
- 苫小牧市 「コロナ禍における地域医療の保持と推進」
- 千歳市 「地方創生推進」
- 白老町 「地域創生推進」
- 厚真町 「離職者雇用・移住促進事業」
- 安平町 「未来へつなげる復興まちづくりプロジェクト」
- むかわ町 「まちの活力を担う人材の育成と強化を図る事業」
- 日高町 「まちづくり推進」
- 平取町 「地域創生推進」
- 新冠町 「地域創生推進」





## とましん信和会・講演会等の足跡

毎年恒例となっているとましん信和会は、豪華な一流歌手を招き、多くの皆さまのご支持をいただいている歴史ある行事です。

また、講演会等は著名な講師を招聘し、とましん経済(文化)講演会や地域活性化フォーラムを開催しています。職員に対しては、見識の涵養としての職員教育の一環として、各分野の専門家や地元の各業界の有識者を講師に迎え、講演会を行っています。これからも地域の皆さまのご期待に沿えるよう、企画・開催してまいります。(敬称略・肩書は当時のものです。また一部省略している場合もあります。)

## これまでのとましん信和会公演の足跡

公演年月日	公演者
昭和38年 6月 13日	三波 春夫
45年 6月 29日	松竹大歌舞伎特別公演
46年 7月 15日	宝塚歌劇団公演
47年 9月 11日	美空 ひばり
49年 7月 4日	松竹大歌舞伎特別公演
50年 8月 20日	北島 三郎
51年 8月 24日	二葉 百合子
52年 7月 16日	森 進一
53年 9月 13日	小柳 ルミ子
54年 8月 24日	細川 たかし
55年 9月 22日	千 昌夫
56年 9月 14日	都 はるみ
57年 8月 22日	なつかしの歌謡ショー
58年 9月 8日	藤山 寛美
59年 8月 18日	細川 たかし
60年 9月 5日	藤山 寛美
61年 8月 22日	小林 幸子
62年 8月 21日	八代 亜紀
63年 6月 22日	五木 ひろし
平成元年 8月 25日	森 進一
2年 8月 20日	細川 たかし
3年 8月 22日	大月 みやこ
4年 8月 19日	桂 銀淑
5年 8月 2日	北島 三郎
6年 8月 26日	藤 あや子

公演年月日	公演者
平成7年 8月 29日	坂本 冬美
8年 10月 16日	梅沢 武生劇団(梅沢 富美男)
9年 9月 5日	前川 清
10年 8月 24日	石川 さゆり
11年 8月 24日	長山 洋子
12年 8月 21日	吉 幾三
13年 8月 29日	川中 美幸
14年 8月 20日	小林 幸子
15年 8月 21日	前川 清&梅沢 富美男
16年 8月 27日	美川 憲一
17年 10月 28日	天童 よしみ
18年 8月 25日	コロッセ
19年 8月 16日	北島 三郎
20年 9月 16日	吉 幾三
21年 8月 31日	五木 ひろし
22年 9月 14日	細川 たかし
23年 9月 27日	坂本 冬美
24年 9月 25日	杉 良太郎&伍代 夏子
25年 8月 19日	北島 三郎
26年 9月 9日	島津 亜矢
27年 9月 17日	加山 雄三&ザ・ワイルドワンズ
28年 8月 29日	水森 かおり
29年 9月 6日	天童 よしみ
30年 10月 18日	美川 憲一&コロッセ
令和元年 8月 9日	新演歌三姉妹(市川由紀乃、丘みどり、杜このみ)

## これまでの講演会等の足跡

開催年月日	講師名	テーマ
昭和56年 9月 10日	佐々木 久子(雑誌「酒」編集長・随筆家)	酒と人生
57年 7月 29日	高島 陽(経済評論家)	変動期における中小企業経営の着眼点
58年 7月 25日	高島 陽(経済評論家)	新技術革新と中小企業の対応
63年 5月 24日	竹村 健一(文明評論家)	これからの日本
平成2年 9月 21日	中西 章一(パーソナリティ)	パーソナリティの独りごと
3年 10月 14日	日下 公人(多摩大学教授)	地域活性化の具体的成功例に学ぶ
7年 8月 4日	三義 智章(日本ビジネスドック診断指導協会 理事長)	長期不況から脱出するための企業の経営戦略
8年 2月 22日	邱 永漢(経済評論家)	新時代の経営と金儲けの秘訣
8年 8月 6日	金井 一頼(北海道大学経済学部教授)	中小企業戦略といま中小企業に必要なのは
8年 11月 20日	嵐 信彦(ジャーナリスト)	世紀末はチャンス時代
9年 4月 24日	三義 智章(日本ビジネスドック診断指導協会 理事長)	価格破壊時代に必要な利益計画の策定と超不況経営のポイント
9年 8月 12日	水谷 研治(東海総合研究所 社長)	右肩上がりの日本経済
9年 11月 14日	高木 勝(富士総合研究所 理事)	どうなる? 今後の日本の経済
10年 3月 12日	紺谷 典子(日本証券経済研究所 主任研究員)	日本経済の実相
11年 3月 19日	富家 孝(医療ジャーナリスト)	経営者の健康法-会社の発展はトップの健康法から
11年 6月 7日	植草 一秀(野村総合研究所 上席エコノミスト)	日本経済の現状と展望
11年 11月 19日	金森 久雄(財)日本経済研究センター顧問)	日本経済の将来-復活へのシナリオ
12年 2月 17日	浅井 信雄(国際政治学者)	激変世界に揺らぐ日本の政治と経済
12年 2月 19日	衣笠 祥雄(野球解説者)	野球に学び教えられたこと
12年 7月 18日	高野 孟(インサイダー編集長)	日米経済摩擦とこれからの日本
12年 10月 26日	内橋 克人(評論家)	地域・情報・テクノロジー -新時代の中小企業
13年 2月 13日	岩見 隆夫(政治評論家・毎日新聞東京本社編集局顧問)	揺れ動く内外情勢とこれからの政局
13年 2月 27日	三遊亭 金時(落語家)	楽は苦の種、苦は楽の種
13年 7月 10日	紺谷 典子(日本証券経済研究所 主任研究員)	これからこそ中小企業の時代
13年 10月 26日	草野 厚(慶應義塾大学 総合政策学部教授)	21世紀の日本-政治と経済

開催年月日	講師名	テーマ
平成14年 2月 13日	黒岩 祐治(フジテレビジョン・キャスター)	どうなる日本
14年 3月 4日	東海林 のり子(キャスター・リポーター)	生き生きとした人生のために
14年 7月 11日	福岡 政行(白鷗大学法学部教授)	新世紀の日本政治と経済を展望する
14年 10月 25日	福島 敦子(キャスター・エッセイスト)	私の取材手帳から
15年 3月 7日	正司 歌江(女優)	笑い涙と希望の人生ドラマ
15年 7月 10日	川本 裕子(マッキンゼー シニア・エキスパート)	金融システムの健全化とこの国の将来
15年 9月 3日	とましん地域活性化フォーラム	わが街のまちづくり
15年 10月 31日	中邨 秀雄(吉本興業株式会社 取締役名誉会長)	吉本流経営戦略
16年 3月 10日	松居 一代(女優・エッセイスト)	生きてるってすばらしい
16年 8月 3日	薫 信彦(ジャーナリスト)	これからの10年～人と企業と地域
16年 9月 18日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧が北海道のためにできること
17年 3月 4日	同前 雅弘(NPOエイプロシス理事・㈱大和証券グループ顧問)	変化の時代への対応ー証券市場の役割と展望
17年 3月 8日	ガッツ石松(元プロボクサー)	ガッツ石松のわが人生
17年 5月 27日	堀川 正十郎(元財務大臣)	今、統治システムの改革
17年 8月 10日	藤堂 省(北海道大学大学院 医学研究科教授)	命の贈り物
18年 2月 12日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧発! 北海道の未来
18年 3月 23日	千住 文子(エッセイスト・教育評論家)	すべては「千住家の教育白書」からはじまった。
18年 7月 24日	黒岩 祐治(フジテレビジョン・キャスター)	どうなる日本
19年 5月 8日	中田 美智子(㈱エフエム北海道営業本部副部長兼放送本部副部長)	北の大地を誇りに思う時
19年 6月 18日	中川 政雄(㈱オフィス・なかがわ代表 元気コンメンター)	これからは信用金庫の時代
19年 7月 10日	林田 正光(㈱HAYASHIDA-CS総研 代表取締役)	感動を呼ぶサービスの真髄
19年 11月 26日	遠藤 友彦(有)ゴーアヘッドジャパン 代表取締役)	駒苦に学ぶ組織力
20年 1月 22日	金井 昭雄(富士メガネ会長)	海外難民視力支援ミッション
20年 3月 24日	北川 正恭(前三重県知事)	多様な主体による地域経営
20年 3月 25日	石橋 弘次(トヨタ自動車北海道 取締役副社長)	地域とともに
20年 5月 19日	高木 新二郎(野村證券㈱顧問・法学博士)	地域力再生機構はなにをやるのか 中小企業の活性化
20年 6月 16日	中川 政雄(㈱オフィス・なかがわ代表 元気コンメンター)	笑う会社と泣く会社はここが違う
21年 3月 6日	とましん地域活性化フォーラム	北海道(苫小牧)が元気になるために
21年 7月 19日	東国原 英夫(宮崎県知事)	地方から日本をどげんかせんといかん!
21年 7月 25日	中川 恵一(東京大学医学部付属病院放射線科准教授 緩和ケア診療部長)	がんのひみつ
21年 11月 20日	高木 由利(医療法人財団織本病院理事長・医長)	美しく生きるために～動脈硬化撲滅作戦～
22年 4月 23日	斉藤 征義(田んぼdeミュージカル委員会事務局長)	「田んぼdeミュージカル」で街おこし
22年 5月 8日	松岡 紀雄(神奈川大学経営学部・同大学院経営学研究科教授 全国信用金庫協会監事)	松下幸之助から学び、いま思う日本の行く末
22年 6月 18日	中川 政雄(㈱オフィス・なかがわ代表 元気コンメンター)	頑張り地域経済(組織を強くする3つの条件)
22年 10月 26日	松岡 市郎(「写真の町」東川町町長)	東川町からこんにちへ 東川町のまちづくり
23年 1月 15日	石川 勝美(埼玉縣信用金庫法人事業部推進役(プロゴルファー石川 遼選手の父))	～親子は同じ目線で夢を持つ～親子で挑む世界制覇
23年 2月 12日	我喜屋 優(興南高校理事長 硬式野球部監督) 香田 誉士史(元駒大苫小牧高校野球部監督)	甲子園優勝監督苫小牧凱旋
23年 6月 17日	高橋 進(日本総合研究所 副理事長)	日本経済の現状と展望・地方経済の課題
23年 7月 4日	中川 政雄(㈱オフィス・なかがわ代表 元気コンメンター)	元気の出前～元気があったらやれるで(伸びる会社はここが違う)
23年 11月 25日	田村 昇(株式会社 柳月 代表取締役社長)	地域に生き、人と人、心と心をつなぐ経営
24年 4月 27日	磯田 憲一(財団法人 北海道文化財団 理事長)	北海道の流儀
24年 5月 25日	シンポジウム	再生可能エネルギーを考える
24年 6月 22日	内田 忠男(国際ジャーナリスト 名古屋外国語大・大学院客員教授)	国際ジャーナリストからみた日本経済・世界経済
24年 10月 12日	津田 廣喜(元苫小牧税務署長)	日本の社会と財政・金融政策
24年 10月 19日	阿部 雅司(東京美装興業㈱・全日本ノルディック複合競技コーチ)	ノルディック複合に賭けた不屈のチャレンジャー
24年 10月 20日	藤津 勝一 (信金中央金庫地域・中小企業研究所 主任研究員)(金庫内特別研修)	営業店における経営改善支援の取り組みについて 実効性確保・信頼関係再構築・顧客と地域からの評価向上に必要なこととは
24年 11月 5日	田村 秀(新潟大学法学部副学部長・教授)	B級グルメが地方を救う
24年 12月 8日	角田 匠(信金中央金庫地域・中小企業研究所 上席主任研究員)	日本経済の基礎知識と経済指標の見方
25年 2月 7日	堀田 カ(公益財団法人 さわか福社財団 理事長)	高齢社会における企業のあり方 支えあう長寿社会
25年 12月 17日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧のまちづくりに求められること、地域を活性化するために必要なこと
26年 6月 17日	桂 米助(落語家)	話の味は人の味 ～たゆまぬ努力が味を出す～
26年 10月 29日	古賀 茂明(元・経済産業省官僚)	日本は再生できるのか?
26年 12月 2日	清原 伸彦(日本体育大学名誉教授)	なぜ、今集団行動なのか ～真心とは～
27年 6月 16日	星 浩(朝日新聞社特別編集委員)	日本政治・日本外交
27年 10月 15日	真壁 昭夫(信州大学経済学部教授・経済学者)	日本・世界経済のゆくえ
29年 3月 6日	萩谷 順(法政大学法学部教授・ジャーナリスト・元朝日新聞 編集委員)	今後の日本の政治経済について
29年 10月 2日	龍崎 孝(学校法人日通学園 流通経済大学 スポーツ健康科学部教授)	現在の日本の政治経済について
令和元年 10月 7日	尾木 直樹(尾木ママ)(教育評論家 法政大学特任教授 臨床教育研究所[虹]所長)	取り残される日本の教育 ～わが子のために親が知っておくべきこと～
令和2年 1月 29日	上山 博康(社会医療法人 禰心会脳疾患研究所所長)	下流老人にならないために! ～健康であることが基本～
令和2年 12月 7日	隈 研吾(建築家)	まちづくりについて考える

## 地域への寄付金(平成14年度以降)

地域に生まれ、地域とともに歩む信用金庫の原点を踏まえ、業務活動を通じて生じた利益の一定額を地域に還元する方針に基づき、地方自治体や公共機関などへの寄付というかたちで、毎年地域に還元してまいりました。主な内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

金額	寄付先・寄付目的		金額	寄付先・寄付目的	
60,020	北海道		17,800	日高町	
3,000	平成18年度	全国植樹祭	1,500	平成15年度	台風10号災害義援金
3,000	平成19年度	洞爺湖サミット	300	平成17年度	開拓100年式典
10,000	平成21年度	安全安心な地域づくり推進活動	1,000	平成18年度	まちづくり、AED設置
3,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	500	平成19年度	社会福祉事業
10,000	平成25年度	苫東地区進出企業支援	3,000	平成21年度	商工振興事業
5,000	平成27年度	苫東地区開発推進事業支援	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
3,000	平成29年度	北海道開基150周年事業	2,000	平成25年度	日高町PR、婚活支援事業
10,000	平成30年度	ほっかいどう未来チャレンジ基金	2,000	平成26年度	地方創生取組のための資金
3,000	令和元年度	第44回育樹祭協賛金	3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
10,000	令和2年度	「もう一つのクライマックス」プロジェクト	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
20	令和2年度	ほっかいどう恐竜・化石マップ制作プロジェクト	500	令和元年度	地方創生推進のための資金
105,000	苫小牧市		1,500	令和2年度	まちづくり推進
500	平成17年度	文化芸術振興事業	14,000	新冠町	
3,000	平成18年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	1,000	平成15年度	台風10号災害義援金
3,000	平成19年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	500	平成18年度	地域振興事業
10,000	平成21年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	500	平成19年度	図書購入事業
1,000	平成21年度	社会教育・緑化事業	3,000	平成21年度	スポーツ・レクリエーション施設
500	平成22年度	市民文化芸術振興基金	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
5,000	平成23年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	2,000	平成25年度	地域振興事業
10,000	平成24年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	2,000	平成26年度	地方創生取組のための資金
10,000	平成25年度	夜間救急センター非常発電装置	1,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
1,000	平成25年度	市民文化芸術振興施策助成	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
10,000	平成26年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	500	令和元年度	地方創生推進のための資金
5,000	平成27年度	市民ホール綴帳	1,000	令和2年度	地方創生推進のための資金
5,000	平成27年度	とましんスタジアムモニュメント	11,500	白老町	
10,000	平成29年度	市民ホール建設	3,000	平成21年度	人工透析患者送迎用車輛購入
10,000	平成30年度	市民ホール建設ほか地域活性化	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
1,000	平成30年度	苫小牧市高丘地区桜植樹	3,000	平成25年度	町制施行60周年記念事業準備
10,000	令和元年度	児童相談複合施設整備等	1,000	平成26年度	地方創生取組のための資金
10,000	令和2年度	コロナ禍における地域医療の保持と推進のため	1,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
19,500	むかわ町		1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
1,000	平成15年度	台風10号災害義援金	1,000	令和2年度	地方創生推進のための資金
1,000	平成18年度	地域振興事業	12,000	千歳市	
500	平成19年度	音楽演劇鑑賞事業	3,000	平成21年度	地域振興基金
3,000	平成21年度	視聴覚教材テレビ購入	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	2,000	平成25年度	地域振興事業
2,000	平成25年度	鈴木章記念事業推進基金	1,000	平成26年度	地方創生取組のための資金
2,000	平成26年度	地方創生取組のための資金	2,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金	1,500	令和2年度	地方創生推進のための資金
1,500	平成30年度	北海道胆振東部地震災害義援金	1,000	安平町	
1,500	令和元年度	恐竜ワールド構想推進	1,000	令和2年度	未来へつなげる復興まちづくりプロジェクト
1,500	令和2年度	まちの活力を担う人材の育成と強化を図る事業	2,500	室蘭工業大学	
21,000	厚真町		500	平成18年度	公開講座事業
500	平成15年度	台風10号災害義援金	500	平成20年度	管理運営助成
500	平成18年度	地域振興事業	1,000	平成21年度	管理運営資金
500	平成19年度	地域振興事業	500	平成22年度	管理運営資金
3,000	平成21年度	地域振興基金	3,500	苫小牧工業高等専門学校	
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	500	平成17年度	共同研究助成金
2,000	平成25年度	京町公園整備事業	300	平成19年度	ロボコン2007
2,000	平成26年度	地方創生取組のための資金	500	平成20年度	管理運営助成
3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用	1,000	平成21年度	管理運営資金
1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金	500	平成22年度	管理運営資金
4,000	平成30年度	北海道胆振東部地震災害義援金	300	平成23年度	ロボコン2011
1,500	令和元年度	地方創生推進のための資金	100	平成26年度	50周年記念
1,500	令和2年度	離職者雇用・移住促進事業	300	平成27年度	ロボコン2015
22,540	平取町		55,167	平成14～ 令和2年度	その他各種地域機関
1,000	平成15年度	台風10号災害義援金	345,527千円	平成14～令和2年度の 寄付金総計額	
500	平成18年度	地域振興事業			
500	平成19年度	子供芸術劇場開催			
3,000	平成21年度	教育・文化・スポーツ振興基金			
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用			
3,000	平成25年度	びらとり温泉建替			
2,000	平成26年度	地方創生取組のための資金			
2,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用			
6,540	平成30年度	新規就農支援設備として旧振内代理店及び旧同職員 居宅の土地・建物を譲渡			
1,500	令和元年度	地方創生推進のための資金			
1,500	令和2年度	地方創生推進のための資金			